

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 2月 16日

事業所名 社会福祉法人ハッピーステーション

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点／課題・改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			【工夫している点】 ・活動内容や利用者の特性に応じて、複数の部屋を使い分けています。 ・視覚支援を取り入れ、絵や写真を活用し、目で見てわかるようにしています。 ・掃除、消毒、換気を行い、心地よく過ごせる空間づくりを行っています。 【課題・改善目標】 ・法令は遵守しているが、運動等をするには狭いことがある為、気候に応じて屋外での活動実施を行っていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	3		1	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4			
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		3	1	【工夫している点】 ・事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所内での自己評価及び情報共有を行い、事業所のホームページにて公開しています。 【課題・改善目標】 ・コロナの影響もあり、外部研修への参加が難しい状況が続く為、事業所内での研修実施やオンライン研修への参加により、資質向上に努めていきます。 ・細やかな連絡体制をつくり、スタッフ間の話し合いや情報共有が行えるよう努めます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		1	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	1	2	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			【工夫している点】 ・共通のアセスメントツールを活用し、利用者ひとりひとりの特性に応じた計画書を作成しています。 ・身体を動かす活動や工作、買い物等さまざまな活動を設定しています。また、季節行事の活動も織り交ぜ、利用者が楽しめるよう工夫しています。 ・長期休暇には普段できないような特別な活動を取り入れています。 ・子どもの状況・ペースに合わせた集団活動ができるよう、サポートしています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		1	
	12	放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			
	13	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	4			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3		1	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点／課題・改善目標
適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			<p>・スタッフ間の情報交換、役割分担、気づいた点等は、LINE等を使用しこまめに連絡を取り合い、共有できるようにしています。</p> <p>【課題・改善目標】</p> <p>・業務日誌や定期的な会議により、支援内容の検証を行っているが、より充実した支援の為、適切な活動内容の設定を行っていきます。</p> <p>・利用者が安心・安全に過ごすことができる空間を提供する為、スタッフの充実をはかります。</p>
	16	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		1	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3		1	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2		2	
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
	22	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	3	1		
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			<p>【工夫している点】</p> <p>・担当者会議には積極的に参加し、子どもの特性に応じたサービス提供ができるように努めています。</p> <p>・学校行事や送迎時間、トラブル等について、連絡帳や電話により、ご家族との情報共有を行っています。</p> <p>【課題・改善目標】</p> <p>・障害のない子どもとの交流や地域参加は、あまり実現できていない為、積極的に参加できる体制を築いていきます。</p> <p>・ご家族からの相談等に迅速に対応できるよう、家族支援プログラムも念頭におき、体制を強化していきます。</p> <p>・学校や相談支援員との情報共有を行っているが、一体的な支援ができるよう、より綿密な支援体制をつくれるよう努めます。</p>
	24	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			
	27	就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		1	3	
	28	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		1	3	
	29	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	2	
	30	放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	
	31	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			4	
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			
	33	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか			4	